

# 米倉教公の週間為替市場見通し

6/26 日週号

ドル/円予想レンジ 110.30 - 112.00 円

## 『米ヘルスケア法案の行方や米5月PCEに注目！』

### ■今週の市場動向：ドル/円は気迷い相場！

今週のドル/円週足では、上ヒゲ下ヒゲのある転換を暗示する寄せ線となった。週明けは、ダドリー米 NY 連銀総裁が講演で米景気や米インフレ見通しに対して楽観的な見解を示したことで、米長期金利が上昇とともにドル買いが強まった。20日は、前日の流れが継続し111.79円まで上げた。しかし、カーニーBOE総裁が『インフレ圧力は抑制されており、利上げの時ではない』と発言すると、ポンド/円の急落につれドルに対しても円買いが強まった。21日は、ホールデン MPC 委員が『年後半に金融刺激策の一部解除を支持』と発言し、ポンド/円が反発したことにつれ111.74円まで切り返した。米5月中古住宅販売件数の好結果も支援材料となった。22日は、一時110.91円まで失速したが、原油価格の上昇したとともに、カナダ小売売上高が予想を上回ると、カナダ/円の上昇とともに111.45円までもと直した。23日は、特段材料がなかったことや、週末のポジション調整から111.25円を挟んだ値動きに終始した。

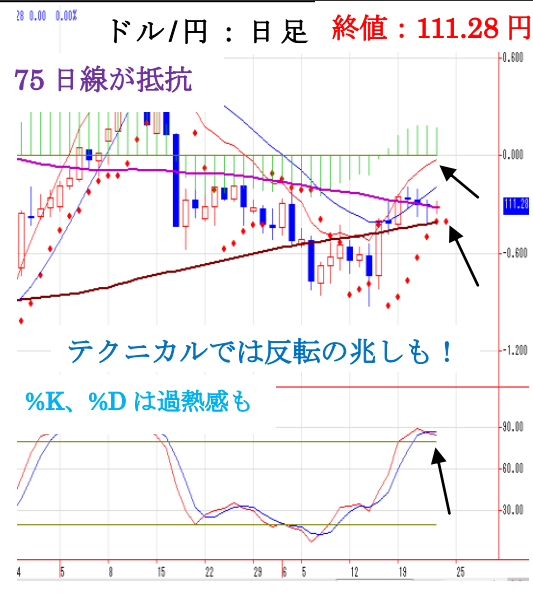
### ■来週の注目点：米ヘルスケア法案の行方や米5月PCEに注目！

来週の注目点は、共和党上院が提示したヘルスケア法案の行方となる。上院のマコネル院内総務は上院本会議での採決を来週実施したい考えだ。しかし、共和党議員2名以上が反対に投じると、可決できない。現状では5名の共和党上院議員がこの案に反対姿勢を表明している。ヘルスケア法案が否決されるとリスク回避のドル売りにつながりやすい。また、米5月PCE（個人消費支出）コアは前年比+1.4%と、4月から低下する見込みとなっている。FOMCメンバーは、このコア指数が2.0%に向けて上昇するかどうか注視している。この指数が伸び悩むと、年内の追加利上げに積極的だったFOMCメンバーのトーンが下がりやすくなり、ドル売り材料となりやすい。上値目途は、20日高値111.79円や5月25日111.95円となる。24日高値112.12円超えるとトレンド転換となる。下値目途は、22日安値110.91円、16日安値110.61円、14日高値110.34円となる。110円台後半では、ドル買いも根強く残っている。月末のロンドンフィクシングでは値動きが激しくなるので注意！

### ■テクニカル的な見解：テクニカル的には75日線を維持出来るかが焦点！

シカゴIMM投機筋の6月20日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲50,553から▲49,959へと売り持ち高は前週から減少した。パラボリック（パラメータ：0.08、0.3）では、6月15日から買い継続。26日のSARは110.91円まで下落すると売り転換となる。MACD（パラメータ：12、26、9）では、ゼロラインがレジスタンスラインとなるか注目。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K：84.16、%D：86.64から下落基調初動。75日線（紫線）がレジスタンスラインとなっている一方、200日線（茶線）がサポートラインに。ロウソク足は、前日ロウソク足は日々十字線となっており、方向感に欠ける動きが続いた。相場に迷いが出ており、75日線の111.26円維持できるかがカギとなる。一方200日線の110.90円がサポートするかも注目される。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。



### ★前週の気になる出来事

NY原油があっさり45ドル割れとなり、1バレル42ドル台と約10ヵ月ぶり安値でも原油掘削設備（リグ）の稼働数が23週連続増加の758基となった。1年前は採算コストが50ドル台だったことから、コスト割れで何故増えるのか疑問だった。しかし、技術は日進月歩で、現在の採算コストは30ドル前半まで大幅改善している。凄まじい早いテンポで掘削技術が進んでいることになる。逆にいえばNY原油が30ドル前半まで下落するまでは、リグの稼働数が増加することとなり、NY原油の30ドル割れも視野に入る。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 28 食産第 3988 号,経済産業省 20161108 商第 10 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365 - 為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額 = 取引単位 (元本金額) × 4% × (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。